

DJポリスも学んだスピーチロックとは!?

共感を得る「ことば」講座



大好評

- 1 目的** 福祉・介護の従事者に適切な「ことば」の使い方を学ぶ機会を提供し、利用者の生活の質の向上に寄与する。
- 2 開催日** 2019年11月29日(金) 午前9時50分～午後4時(受付9時30分～)
- 3 対象者** 静岡県内の社会福祉施設・介護保険事業所等の職員 【定員：60人】
- 4 会場** 静岡県総合社会福祉会館シズウエル7階703会議室(静岡市葵区駿府町1-70)
- 5 講師** (株)はあもにい 代表取締役 **大野晴己** 氏 ※「DJポリス」の講師も担当
- 6 内容**

行動を制限する言葉から、相手を受け入れる言葉へ。

サービス業・対人援助のプロとして、重要な「ことば選び」を学びます。

D言葉

「でも」「だって」「だから」「だったら」
「ですから」「どうせ」

スピーチロック

「動いたらダメ」「立たないで」
「だめです」「しないで」

共感を得る
ことばへ

聞きやすく、話すために 言葉を学ぶ

- ①姿勢を正す ②口を大きく開ける
③腹式呼吸で、一息で言う。 ④ひとつひとつの音をはっきりと発音する

※演習を多く取り入れた参加型研修です。

※間違った敬語・過重敬語も併せて学びます。



- 7 受講料** 6,000円(所属する施設・事業所が静岡県社会福祉協議会会員の場合は4,000円)

※受講料は、受講承認書にてお知らせいたします。当日、受付にて現金でお支払いください。

- 8 申込方法** WEB(会員向け)又は郵便でお申し込みください。

申込締切 2019年10月5日(土)

郵送申込の場合には、**84円切手**を貼付した返信用封筒を同封してください。

- 9 申込み・問い合わせ先**

(福)静岡県社会福祉協議会 静岡県社会福祉人材センター研修課(鈴木(豊))

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1番70号 (TEL 054-271-2174)

締切り：2019年10月5日（土）消印有効
（先着順ではありません）

研修 No.104

2019年度 共感を得る「ことば」講座 受講申込書

静岡県社会福祉人材センター 行

2019年 月 日

標記研修会の受講について、下表のとおり申し込みます。

ふりがな		性別	経験年数	年
氏名		男・女	（現在の業種・職種での経験年数）	
職種名		施設種別名		
施設名		県社協の会員・非会員の区別に○をしてください。 ※会員加入は「事業単位」です	会員・非会員	
施設所在地	〒 ー			
	※電話連絡する際の担当者名（ ） TEL（ ）			
	※開催の中止や延期等、緊急時の連絡先（ ） TEL（ ）			

- * 全ての欄に御記入ください。
- * 「職種名」欄には、介護職、看護師、相談員、ケアマネジャーなどの区分を御記入ください。
- * 「施設種別名」欄には、特別養護老人ホーム、障害者支援施設、児童養護施設、保育所などの種別を御記入ください。
- * 御記入いただいた個人情報については、本講座以外に使用することはありません。

◆申込方法及び受講可否の御連絡◆

県社協会の施設・事業所様は、当会ホームページ上で研修にお申し込みいただける「WEB サービス」を御利用になれます。



WEB サービスページアドレス <http://www.shizuoka-wel.jp/learn/information/>

なお、従来どおり郵便でもお申し込みいただけます。
お申込方法及び受講可否の御連絡は、以下のとおりです。

	施設・事業所が県社協会の方	会員でない方
研修の申込方法	↓ WEB で申込み	↓ 郵便で申込み
	操作方法は「WEB サービスページの御案内及び操作マニュアル」を御覧ください（平成 25 年 1 月送付済）。	受講申込書に必要事項を記入し、施設所在地・名称を記載した返信用封筒（切手貼付）を同封の上、下記までお送りください。 1 研修につき 1 枚の返信用封筒が必要です。
受講可否の連絡	↓ E メールで回答	↓ 郵便で回答
	募集締切後、おおよそ 1 週間以内に、申込みの際に入力した連絡先メールアドレスに受講可否の結果をメール送信します。	募集締切後、おおよそ 1 週間以内に受講可否の結果を郵送します。

◆郵便での申込先・問い合わせ先

〒420-0856 静岡市葵区駿府町 1 番 70 号 静岡県社会福祉人材センター 研修課

… TEL 054-271-2174

以前に受講された方の声をご紹介します。

非常にわかりやすい内容で、今後現場だけでなくプライベートでも活用したいことばかりでした。仕事だけでなく様々な場面で言葉は大切なものとなりますので、今後もさらに勉強したいと思いました。

言葉の使い方一つで、色々な感情が生まれたり、人を幸せにする事が学べた事に勉強になったので良かったと思います。施設に戻り、もう一度考えていい言葉使いが出来る様がんばっていきたいと思います。

大野先生の声のトーン、聞きとりやすい話し方等、勉強になりました。話の組み立て技法が身につけば、ねらい、意図が伝わりやすくなるのだと思います。職場に戻り、報告、実践してみたいと思いました。

今まで普通に使っている言葉づかいも、まちがっている事が多いなと感じました。言葉 1 つで相手の感じ方も変わってきてしまうので気をつけて言葉を選んで使っていきたいと思います。

「ことば」がものを使わなくてもできる思考力を働かせることのできるNO1ツールだということがよく分かりました。私はいつも「この人のために何かできることはないか？」を考えるようにしています。

言葉を発する事は簡単にできるので、急に話しかけられた際にとっさに答えてしまい相手を傷つけてしまう事がありました。自分としては「そんなつもりはなかったのに」とならないように注意しようと思います。